

### 目標1 共生社会の一員となる、豊かな人間性を育てよう

多様な体験や、さまざまな出会いを通して、個々の個性や多様性が尊重されることで、自分らしく生きるとともに、他者をも大切にすることができる共生社会の一員として成長することを支援します。

### 目標2 人と人とのつながりの中で、社会の担い手となるための社会性と主体性を育てよう

グローバル化や情報化社会の進展のなか、自ら課題を見出し解決する力、知識・技能の更新のための生涯にわたる学習、他者や社会、自然や環境と共に生きる力が求められます。これら社会の担い手となる力の育成に努めます。

### 目標3 鎌倉の自然・歴史・文化とかわりながら、鎌倉を愛する心を育てよう

素晴らしい環境の鎌倉で育ったことへ誇りを持つことは、自信を持って社会に出る際の助けになるでしょう。そのためには、まず鎌倉の自然・歴史・文化を知ることが必要です。

また、まちづくりにおける子ども・若者の参加を盛んにすることも必要です。これら子ども・若者のまちづくりへの参画を進める施策の推進を図り、郷土・鎌倉を愛する心の育成に努めます。

### 目標4 子どもと共に、大人も成長しよう

子ども・若者が、大人たちの行動を真似るのは自然なことです。

大人は、常に子どもたちの視線を意識し、手本となるよう行動しなければなりません。

大人が、常に自らの行動を考え、意識を改革していくよう、啓発施策の推進を図ります。

### 目標5 気軽に相談でき、支援を受けられ、安全安心に暮らせるまちにしよう

困難に直面している青少年が身近な地域の中で、相談や支援を受けることができる仕組みが必要です。支援機関を広く周知するとともに、支援機関につなぐ人材の育成、支援機関相互が連携を図るなど、包括的な体制づくりを進めます。離職等になった青少年に対する伴走型支援についても検討していく必要があります。

また、薬物やインターネット・SNS等を正しく理解するための啓発活動を推進するなど、青少年が安心して暮らすことができる取組を進めます。